

「願い」から「礼拝」へ

国内教会局長 大兼久 芳規



「ですから、あなたがたはこう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名が聖なるものとされますように。』（マタイ十六章9節）

祈りの中心が何であるのかということは、大切な事柄です。多くの場合、私たちの祈りの中心は「願い」です。絵馬や短冊に書かれている祈りの内容のほとんどは「願い」が中心でしょう。しかし主は、祈るときには、まず神との関係を祈ることを勧めました。

それは十戒においても同じ順序になっています。前半は神との関係を教え、後半に人の課題へと順序が進みます。私たちの祈りは、主の祈りの順序とは違い、私の課題、私の必要が多くを占めてしまうことでしょう。もし神との関係をはじめに祈ることが許されたら、その祈りは豊かになります。神のみこころに近い祈りだからです。

新改訳2017では、主の祈りの最初が「聖なるものとされますように」と訳が変わりました。今までは「御名があがめられますように」という祈りでしたが、神との関係において「御名が聖なるものとされ」るよう祈ることが記されています。

この「聖なるもの」の意味は「神専用にする」という意味があります。私たちは身の回りに起こることを「偶然やたまたま」と捉えています。しかし聖書は事毎に「神、主がそのことをなされた」と執行者を意識し「神がなされたことを神に帰す」営みが続けられています。

この年を締め括る時期に、一年の出来事の中に「この事もなして下さったのは、あなたです」と、主に栄光をお返しすることが許されたら、主の祈りや十戒の順序と同じ順序の信仰、神を第一にする祈りに近づけられます。

「すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。この神に、栄光がとこしえにありますように。」（ローマ一・36）

祈りの土台が、人が中心になり、自分の事、自分の願い・祝福が、多くを占めてしまうことから、神を第一にし、神との関係を告白し、神の御名をほめたため、事毎に「神のなして下さったことを認め、感謝する」祈りが増えたら幸いです。

それはピリピの獄中で、パウロたちが、自分の解放を祈るのではなく、神に感謝の讃美をささげていた姿勢に近いものとなります。

あとふた月、「私の土台はあなたです」「あなたのご干渉なしには何もできない者です」「ただ、あなたのなして下さったことを認め、御名に栄光を帰します」と、主の順序で祈りましょう。

神の子たちが、日々の生活の中で主の成されたことを数え、主に栄光を帰し、御名を聖なるものとするとき、それは主を尊ぶ礼拝です。聖日の礼拝に加え、日々の生活の中でも、主に礼拝をおささげいたしましょう。

「御名が聖なるものとされますように。」（ルカ 一一・2）

目次

- 願いから礼拝へ……大兼久 芳規……1
- 宣教聖日、国内教会局運営委員会、関東聖化大会……2
- オンライン礼拝、関西聖会、北関東聖会、中国聖会……3
- 海外トピックス、国内教会局コラム、教育局の活動……4
- 北日本ブロック近況と祈りの課題、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

世界宣教局から……

11月20日(日)は 宣教聖日礼拝の日 信仰の目を世界に!

世界宣教局長 田辺寿雄

それぞれの教会にふさわしい形で実施して頂ければと思います。

●宣教コイン献金にご協力を
今年も宣教コイン献金にご協力下さり、心から感謝いたします。これまで集めて下さったものを宣教聖日礼拝に教会にお持ちください。献金を通して、宣教の働きのバックアップをさせて頂きましよう。会計担当の方々による集計などのご奉仕にも心から感謝いたします。貴い献金によって、宣教の働きは継続されていきます。

世界宣教の働きのためにお祈りとご支援をありがとうございます。

11月は宣教月間、第三聖日は宣教聖日です。ぜひこの機会に、私たちの宣教師を通してなされている世界宣教の働きのために共に祈り、理解と関心を深めることができればと心から願っています。

●祈禱カレンダーを用いてお祈りください

各宣教師やIWFの宣教師のために、宣教や伝道の働きのために、11月の一か月間毎日祈れるものをご用意しました。個人で、祈禱会でご活用ください。全国の教会が祈りを通して心をついにし、神の宣教の働きに加わることができまようように。神のみわざを期待してお祈りしましょう。

●宣教聖日礼拝をお持ちください
今年20日(日)が宣教聖日です。その日が無理な場合は、その前後の日曜日を宣教聖日礼拝としてください。日曜日が無理な場合は、宣教師祈禱会をお持ちください。

●DVDをご視聴ください

今年のテーマは「温故知新」過去を知り、未来に向かって、世界宣教一です。竿代照夫元宣教師の証し、各宣教地の報告や宣教メッセージなど全体で約45分ですが、必要に応じて部分的に使っていただいても結構です。礼拝あるいは祈禱会などでお使い頂ければと思います。宣教聖日礼拝用の祈禱課題や、宣教コイン献金の新しいラベルなどと一緒に、11月初めにお届けします。なお、動画データへのアクセスを希望される教会は、局までご連絡ください。DVDの編集は、富士見台教会の大間兄が今年も担当してくださいました。ご労心から感謝いたします。私たちはつつい、自分のことや、自分の教会のことだけを考えてしまいがちです。しかし私たちの教会はアジア、そして世界の中にあることを忘れないようにしたいと思えます。信仰の目を世界に向けてることができますように。

国内教会局から……

私たちの日ごとの糧 (ルカ 11:3)

国内教会局長 大兼久芳規

国内教会局では毎月BAの先生方を中心に実務会がもたれ、国内諸教会を覚えて祈りと調整がなされています。それに加え春と秋に

局の運営委員会がもたれています。春には「各ブロックの報告と祈り」、「教区会に向けての備え」また「各種支援」の検討がなされています。秋の運営委員会では、来年度の予算を立てました。また教報の国内教会局コラムで「兼牧」について教えられていることを先生方に紹介していただきます。

各地の聖会は配信やDVDなどで持たれた教区もありますし、対面が許された教区もありました。来年に向けて、聖会や教会の礼拝にも、集まる方向に舵をきいたら幸いです。

主は「私たちの日ごとの糧を：お与えください」と祈るようになっておられます。その祈りから、一人で見ることばの糧をいただくだけでなく、主にある家族とともにいただくことを御父は求めておられることがわかります。

コロナ後も見え始めています。主の教会に、家族みなで集える時を期待したいと思えます。

関東聖化交友会(KJHA)

第37回 関東聖化大会を開催

ホーリネスを深化する 愛の命令としての聖化

中目黒教会 梅田 昇

間も短くし、1日だけの聖化大会ですが、中目黒教会を会場に、聖化大会を持つことが許され、感謝でした。

今年の聖化大会のテーマは「美しく、きよい生活」でした。聖会Iは、ルカ一〇章25〜28節から、「ホーリネス=愛の命令」という題でブラウン博士の録画説教を通して、聖化のメッセージが語られました。聖会IIでは、錦織寛師がイザヤ六一章10節〜六二章5節から、「ホーリネスの美」キリストの花嫁として」という明確な説教が語られました。聖会IIIはブラウン博士の説教で「コリント六章19〜20節から「クリスチャン生活を導く方向性としてのホーリネス」というメッセージでした。神学生合同コワイアは感動的でした。聖会はYouTubeでもライブ配信され、後日、日本聖化協力会のホームページでも視聴できます。今回の聖化大会のために、実行委員の多大な奉仕があったことを感謝し、主を崇めています。

新型コロナウイルスの影響で、過去二年間、オンラインでの聖化大会となりました。昨年の聖化大会にアズベリー大学学長ケビン・ブラウン博士をお招きする予定でしたが、コロナ拡大のために招聘を断念しました。今年に入り、再度お招きしたいと計画していましたが、春の段階でコロナの感染状況も厳しく、招聘を断念し、説教動画を送って頂くことになりました。

聖化大会としては、3年ぶりの対面の聖化大会となりました。期



コロナ禍3年間の体験を通して 将来の共同牧会に備えるため オンライン礼拝を考えろ



高津教会 藤本 満

やがてそれがかなわない時が来る
かもしれない。

説教の終わりの祈りまでをオン
ラインでカバーし、最後の締めく
くりは各教会でできたら、大きな
祝福となるに違いありません。

ご高齢であっても、長くその教
会を牧会してこられた牧師が最後
に祈り、交わりがあるならそれで
十分です。時には説教準備から解
放され、一聴衆として礼拝にあず
かるのも恵みではないでしょうか。

牧師がいなければ、信徒の中で
そのような人を育てることが大切
なのでしょう。信徒が説教するこ
とも可能ですが、もっと大切な
は牧会できる人を育てることです。
すでに、神さまは用意されている
のではないのでしょうか。

●発想
礼拝が礼拝として成り立つのは、
ともに集まり、賛美し、祈り、説
教を聞く、そして交わる。その中
で、オンラインで割とリアルに共
有できるのが説教です。そこで各
教会では同じ説教を聞きます。

最後の賛美と献金、そして応答
の祈りはそれぞれの教会で牧師が
いたします。今の神奈川教区では
すべての教会に牧師がおりますが、

●今後
オンライン配信が普及したのは
コロナの恩恵です。ウイズ・コロ
ナの時代、技術的な恩恵はこの
教会も享受することができます。

格安の50インチの液晶テレビで
大きくきれいに映ります。難しい
設定をしなくても、光ケーブルが
引かれていたら、テレビが勝手に
YouTubeにつないでくれます。

関西聖会の報告

ハイブリッドで開催

「苦難の中の希望」

堺教会 葛田真理子

10月10日、大阪リバーサイドホ
テルで行われた第67次関西聖会
は、初めてハイブリッドで開催。
対面は3年振り。タイトルは「キ
リストの現れに向かって」苦難の
中の希望」。午前中は聖会で中継
配信を並行。岩上祝仁代表による
メッセージ、伝法教会ソロモンバ
ンド演奏（録画配信）等。聖会来
場者は1001名。午後は部会別。
壮年部はテーマ別集会。女性部は
小グループ毎で近況報告と祈り、
交わり。ユースは吉村和記師をお
招きしての集い。

CSは終日独立した形で「キッ
ズせいかい」。午前中は室内集会、
ワークキットで絵本作り。来場者は
大人子ども合計32名。午後はお出
かけ。水上バス（アクアライナー）
でのひと時。キッズせいかいは事
前収録をし、聖会当日午後から配
信。事前収録、聖会当日配信全て
クリスチャンの専門家に委託（公
社イクサス）。費用がかかっても、
安心して委託できたことで、牧師・
信徒共に聖会、奉仕に集中できた
事、また来場できなかった方々は
視聴を通して聖会の恵みに与るこ
とができたことは感謝でした。

北関東聖会の報告

主に招かれた 大宴会のように

YouTubeを用いて

越谷教会 川村宏美

「わあ、きれい」。玄関や会堂の
秋の花々のしつらいに心とみ、お
久しぶりですね」と迎え入れて
下さる方々の笑顔にはころぶ。

そう、これです。聖会をいつも
の「おうちごはん」とは違う外食
コース料理にたとえるなら、これ
こそは、華やきの前菜。

10月10日の2022年北関東聖
会は、会場の大宮教会に奉仕者の
み集まりYouTube同時配信に
て開催されました。配信担当の
方々、委員の方々の事前準備など、
見えない部分に大きな労があるこ
とを見せていただきました。

家城師の事前収録されたピアノ
演奏はなめらかなスープのように
美味。メインディッシュの説教は、
BA細田師よりきよめの王道、創
世記三二章「不安や恐れの中でク
リスチャンとして生きる」。デザー
トは帰宅道中、夕空に現れた仙台
銘菓のような満月か。こんなイ
メージで聖会を振り返ることがで
きるとは、私が現場でそれを五感
霊感、味わったからこそでしょう。
コース料理はテイクアウトでき
ませんから、教会へのお土産は、
YouTube。感謝の献金はマナー。

中国聖会の報告

DVDを作成して

「ホーリネスへの招き」

呉教会 内山忠信

今回の中国聖会は広島教会を会
場に、教区の各教会へZoomで
配信する予定でしたが、新型コロナ
の感染状況の収まりが見通せな
いので、DVDを作成し、礼拝時
に使用して頂くことになりました。

講師はBAの阪下謙師で、第一
ペテロ一章13〜21節より「ホーリ
ネスへの招き」という題で語って
いただきました。中国教区の各教
会では、10月の礼拝時に視聴しま
した。

松江教会の感想を紹介します。
「松江教会では、10月9日（日）
の礼拝を「ホーリネス聖日礼拝」
とし、DVDメッセージをその日
の礼拝説教として視聴しました。
広く礼拝参加者に見ていただくこ
とで、感想を語り合ったり、疑問
に答えるなど、聖書が語るホーリ
ネスの恵みへの意識、関心を促し、
各自が応答する機会となったよう
に思います。」

これまでも中国聖会は、ひとり
でも多くの方に恵みが届くことを
願って、その時の最善を祈り求め、
行って来ました。これからも、こ
の姿勢で、中国聖会を進めて行き
たいです。

国内教会局から

どんな状況の中でも
教会を支える喜び

一牧師が複数の教会を兼務することは簡単ではありません。しかしすでに教会の兄弟方の大きな助けをいただきながら「成立」している姿に御名を崇めます。会堂に花を生けてくださる方、掃除を分担してくだ



さる方々がいます。礼拝のライブ配信を受信している教会では、パソコンやモニターを操作してくださる方がいます。週報を印刷してくださる方、牧師不在の会堂の換気、週報を配布してくださる方もおられます。説教や会計整理などは大変でも、ご自分にできることで教会を支え、喜んでメンテナンスなどのご奉仕を

担ってくださる方々の姿は、まるで会堂司のようです。教会堂を主の身体のようにきれいに整えたいという思いで仕えておられる姿に、牧師は「兼牧でも大丈夫！」という安心感が与えられています。牧師が常駐する教会でも、このような方々の支えによって教会は支えられています。(大兼久芳規)

■教皇、国連「世界食料デー」機会にメッセージ「数字ではなく人間を軸に考える必要」

問題を考えるために国連によって10月16日に定められた。メッセージで教皇は、1945年のFAO設立から今年で77年を迎えることに触れ、同機関の誕生は、第二次世界大戦の影響によ

て困窮と飢えに圧迫された多くの人々の必要に応えるためであったと回想。「残念ながら、今日も、私たちは『第三次世界大戦』とも言える戦争を背景に生きている。世界は戦争の中にあるということと、私たちは深く考える必要がある」と指摘した。

2022年度の「世界食料デー」のテーマ、「誰一人取り残さない。より良い生産、より良い栄養、より良い環境、より良い生活」に言及し、人類を襲う数多くの危機に立ち向かうには、誰一人取り残すことなく、皆で働き、共に歩むことが必要であり、そのためには第一に他者を自分たちの兄弟姉妹、人類家族の同じ一員としてとらえることが大切である、と述べている。同時に教皇は、あらゆる計画を、数字や統計ではなく、具体的なストーリーや顔を持ち、一定の場所に居住する人間を軸にして考えることの重要性を強調した。(平瀬義樹)

キリスト教迫害に反対するキャンペーン「リリス・インターナショナル」が、同国南東部ザポリリジャ州メリトポリの福音派プロテスタント3教会と、マリウポリのバプテスト教会が、この1か月間に閉鎖されたと報告している。目撃者の報告によると、夜の礼拝中にバプテスト教会に入り、閉鎖を命じたロシア兵が「我々の信仰はただ一つ。正教だ」と言ったという。

ロシアがウクライナの「プロテスタント教会閉鎖」米専門メディア「クリスチャニティ・トゥデイ」が伝えるところでは、英国国教会の週刊紙「チャーチ・タイムズ」が10月7日、親ロシア派勢力が、ウクライナの占領地域にあるプロテスタント教会を閉鎖している、と報じた。

教皇フランシスコは10月14日、国連の「世界食料デー」の機会に国連食糧農業機関(FAO)の屈冬玉(チュー・ドンユイ)事務局長に宛ててメッセージを送った。「世界食料デー」は世界の食糧



海外トピックス

て困窮と飢えに圧迫された多くの人々の必要に応えるためであったと回想。「残念ながら、今日も、私たちは『第三次世界大戦』とも言える戦争を背景に生きている。世界は戦争の中にあるということと、私たちは深く考える必要がある」と指摘した。2022年度の「世界食料デー」のテーマ、「誰一人取り残さない。より良い生産、より良い栄養、より良い環境、より良い生活」に言及し、人類を襲う数多くの危機に立ち向かうには、誰一人取り残すことなく、皆で働き、共に歩むことが必要であり、そのためには第一に他者を自分たちの兄弟姉妹、人類家族の同じ一員としてとらえることが大切である、と述べている。同時に教皇は、あらゆる計画を、数字や統計ではなく、具体的なストーリーや顔を持ち、一定の場所に居住する人間を軸にして考えることの重要性を強調した。(平瀬義樹)

教育局では何を？……

教育局の活動を
一挙に紹介します！



教育局 野田 禎

祈っているそうです。) 教会学校課——毎日子ども向けの「みことばや、「ふれんず」をクリックすると、たくさんのお助け情報があります。新企画で子どもが大好きなトレーディングカードを準備中です。きっと教会学校に来るお友だちが増えると思います。ぜひご利用ください。

皆さん、教育局のホームページをご存知ですか。そこに局長の小川宣嗣先生が挨拶の一文を書いています。

信託教育課の信託聖書講座では過去の作成されたビデオを紹介しています。今まで藤本満先生の「主の祈り」、熊谷邦男先生の「救いの確かさ」、それぞれ約20分のもものが8本あります。信仰を持った方がまずこれらを学ぶことができたら幸いだと思います。

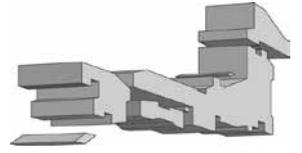
「教育局では、教会のすべての牧師・信徒の方々、また子どもから大人まで全年齢層の方々が、主の恵みに成長し続けるために有益な情報や、連続性のある教育プログラムを提供できればと願っています。」

そのページに教育局の組織も記されています。

- 教育局
- ▼信徒教育課(聖書講座、信徒伝道者)
- ▼生涯学習課(牧師の学び)
- ▼青少年部
- ▼青年課——YSB、ビルドIIYS、20s(青年たちを中心に企画され、講演を聞いたり聖書を読んで恵みを分かち合ったりします。)
- ▼中高生課——とにキャン(今年にはコロナで対面できずオンライン。来年は聖山でキャンプをと

また若上先生の「使徒の働き」は全部で30回になります。現在富士見台教会では毎月、若上敬人先生が聖書講義をしてくださっているものを教育局のホームページに載せています。これは一回約55分で、パワーポイントの資料を用いてわかりやすくお話しくださり、聖書の世界に、救いの恵みに、そして宣教の使命やきよめの素晴らしさに目が開かれる思いがします。教育局と神学院が協力して、さらに良いコンテンツを加えられたいか、祈りつつ模索しています。全年齢層の方が恵みの中を成長して行けるように様々なコンテンツの準備、また動きが進められています。こうした働きに主の祝福をお祈りください。そして様々なコンテンツをご利用ください。

国内教会局 スクエア



北日本ブロックの

近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー

細田 恒太郎

対外的なCSイベントを再開し始めています。

《郡山教会》オンラインを用いての特別集会在春、秋と持たれ、恵みを受けました。

■北関東教区

《宇都宮教会》古川師、葛田崇志師、山田謙嗣師が協力牧師として入られ、協力の業が礼拝でなされています。

た。数名の求道者が礼拝、祈祷会に集っておられ、救いが祈られています。

《青森教会》4月から細田が兼牧となり、月1度の訪問とオンラインでの礼拝、祈祷会が継続されています。常駐者がいない中、冬の会堂管理が課題となっています。

《十和田教会》冬の雪庇事故による隣家のカーポート修理や会堂軒下修理などがなされました。

《盛岡教会》11月より國光先生ご夫妻が呉のベタニヤホームに移られ、神谷師、細田が協力牧師として加わります。

《秋田教会》8月より月毎に教会学校お楽しみ会が開催され、普段のCSに繋がる魂が起こされることを祈り求めています。

《山形教会》野外礼拝やソートグ教室など、可能な集会在継続されています。

《鶴岡白山教会》クリスマスなど特別な時に地域家庭にCSプレゼントやグッド・ニュースなどを渡しつつ、伝道活動が継続されています。

《仙台教会》海水浴や焼き芋など



ゆるぎない祝日

▼梅雨明けの猛暑の最中、歌人・東直子さんの近著『一緒に生きる』(福音館書店)の中で、面白い文章に出会った。「元日というのは、ゆるぎない祝日である。他のどの祝日よりも圧倒的な力で、人を休ませる力がある。仕事の打ち合わせや棚卸し、新製品発表会なども、元日に設定することはない。芸能人が大晦日に離婚や結婚を発表することがあるが、次の日にワイドショーがなく、記者もおしかけてこない、と踏んでのことだろう。」(新しい空へ)もう少し先だよな、と思いつつも、一月一日をそんなふうには感じたことはなかったな、と新しい発見をした気分になった。大抵この日は、元日礼拝をもってその年をスタートすることになっているからだろう(2023年は日曜日です)。

▼ふと思いついたのが、イエス様の招きの言葉。「休ませてあげます」(マタイ11:28)。ゆるぎない、圧倒的な力で人を休ませる……イエス様は、時に元日のような力をもって御許へと招いてくださるのだろうか、と思いついた。

▼休むことにごか後ろめたさを感じるギリギリの世代かな、と自

認する。数年前から施行された有給休暇取得の義務化は、雇用者を「休ませる」立場にある使用者側に労務管理、労働環境の改善を促す。がむしろに働いて、休暇返上もサービス残業も、どこか「美德」と思う向きがあつて、それを暗に求めてこなかったか、と自省する。「私はこうだった。だからあなたも(私ができたのだから私のようにできるはず、やりなさい)」という「ジャスト・ライク・ミー・シンドローム」が、例えば、若者世代の離職率との因果関係において取り上げられたりする。そこには、ひとつ違えばハラメントが生まれるという危うさも潜んでいるだろう。時代はとくに、24時間戦えますか?とは問わないのだ。

▼就労形態が多様化し、当然(今に始まったことではないが)元日から仕事に勤しむ人たちがいて、私たちの暮らしは支えられている。感謝しつつ、その人その人にとってたましいの「ゆるぎない祝日」であるイエス様へと導かれてほしいと願う。来たる元日は、「安息日の主」を一層近く感じたいの思いが高まっている。(南場安正)

夏から秋にかけてポプラ聖会、東北聖会、北関東聖会がそれぞれ対面とオンラインを組み合わせて恵みのうちに開催されました。これから厳しい冬の季節を迎えます。先生方の健康が支えられますようお祈りください。

■北海道地区

《釧路教会》常駐牧師不在の中、深川教会、札幌教会のサポートを受けて、礼拝や学び会が続けられています。地域食堂「丘の上食堂」は少しずつ地域の人に認知されるようになり、毎回30名ほどの人が集っています。

《札幌教会》教会のそばにOMFの訓練センターがあり、そこから宣教師一組が礼拝に集うようになっていきます。

《恵庭教会》雪害で被害をうけた会堂建物のリフォームが行われました。現在もYouTubeでメッセージの配信が続けられるなど、新しい取り組みがなされています。

■東北教区

《大湊教会》9月に教会の土台をつくり、教会のために土地を捧げた兄弟(98歳)が天に召されまし

《仙台教会》海水浴や焼き芋など

巻頭言

だれを遣わそう？



世界宣教局 平瀬義樹

「私は主が言われる声を聞いた。『だれを、わたしは遣わそう。だが、われわれのために行くかどうか。』」(イザヤ六章8節) 今年も宣教月間を迎えました。



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

皆さまのお手元に「宣教祈禱カレンダー」は届いていますか？ 宣教の祈りをささげつつ、20日の「世界宣教聖日」を迎えましょう。
* 神様の召しと応答
冒頭のみことばは預言者イザヤを通して語られた神様の問いです。私たちはこの主からの問いに、それぞれの今ある場所、持ち場、立場でどう応答するでしょう。
イザヤがこの御声を聞いた時、それは国難の危機の最中であり、彼自身の信仰の危機でもありました。自分の心の支え、拠り所としていたウジヤ王を失ったのです。これから先どうなるか、心に大きな不安と困惑、焦りが去来します。そんな中、神様は彼に呼びかけられたのです。

「私は言った。『ここに私がおります。私を遣わしてください。』」彼はその御声に真正面から向き合い、自らを主の前に置きました。
* 神様は人を用いられます
神様はご自身の働きのために、ご自身の計画を進めなさるのに、人を用いられます。宣教の働きは神様の大きな御手の業であり、それとともに、主の御声に従った人々の信仰の応答でもありません。「われ主に従いまつらん」(イ361)の賛美は、日本宣教のために生涯を献げた器の心の祈りでした。神様はこの器を豊かに日本宣教のためにお使いになりました。4節の「海山越え進むとも……」との賛美を胸に、日本からも幾人かの宣教師が海外に派遣されて行きました。神様はその器方をそれぞれの地で豊かに用いられました。
* 私の時は御手の中にあります
台湾の忘れ得ぬ二人の人。産婦人科医のR先生。熱心な求道の後、明確な信仰に導かれ、受洗。数年後、御国に凱旋されました。晩年の言葉「先生、あなたに会えてよかった。でも、もっと早く来てくれれば、みな救われたのに……」
80歳で米国で信仰を持ち、台湾に帰国した老婦人の言葉「私は幸せ者です。私の行く所、行く所に日本人の牧師さんが派遣されました。ただ主の恵みです。」
宣教月間の時、主の御声を聞き、応答する私たちでありましょう。



TAIWAN

台湾

久保光彦・せきな*2022年10月7日

9月に入ると台湾では中秋節(今年は9月10日)の準備が始まります。中秋節と言えば、日本では月餅がよく知られていると思いますが、台湾では家族や知り合いが集まって焼肉をする習慣があるそうです。昨年、私たちが赴任したばかりのころは、新型コロナウイルスのために人が集まることにまだ厳しい制限がありましたので、焼肉をしている光景を見かけることもなかったように思いますが、今年はそのような制限もほとんどなくなり、中秋節の前夜には、日が沈み夜になると、家や店の軒先に人が集まって、にぎやかに焼肉をしている光景によく遭遇しました。
長女は週一回中国語を教わっている先生の実家にお招きを受け、中秋節の焼肉を体験することが許されました。日本ではなかなか体験できない異文化の行事に触れ、大変楽しい時を過ごしたようです。
台湾国内の新型コロナウイルスの感染状況は相変わらず予断を許さない状態

が続いています。その一方で、台湾・日本双方ともに10月半ばをめどに国境が開放され、往来が再開されるという発表がありました。台湾は親日の方が多く、日本旅行をする方も大変多くおられます。ここ数年新型コロナウイルスのために日本旅行が不可能な状態でしたので、往来再開に際して、早くもう一度日本へ遊びに行きたい、と喜びの声も多く上がっているようです。外国から台湾に入国した際の隔離政策にも大幅な緩和がなされる予定と報じられています。またこれまで足止め状態であった在台邦人の出入国も盛んになることが予想されます。国境開放以降、海外との往来が盛んになることで、再度の大規模感染などが起こらないようにお祈りください。
暑かった夏も終わりの気配を見せ、少し涼しくなりつつありますが、季節の変わり目ということもあり体調の不良を訴える方もおられます。教会の皆さんの健康のためにもお祈りください。
教会の働きは、礼拝、祈禱会、にほんごカフェを中心に継続してあります。日本語に様々な形で興味があつて教会に来られる方が多いので、わかりやすい日本語を用いることを心がけることが良いのではと感じ、配布物は簡単な日本語にフリガナ付きで用意するようになりました。また、台湾に来てまだ日が浅い(私たちを含めた)人のためには、聖書箇所を中国語や台湾語でも併記し、中国語には注

音符号を振るようになっています。クリスマスに向けての準備も始まろうとしています。良き備えができますようにお祈りくださると感謝です。■



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2022年10月11日

「彼らは思い出した。神が自分たちの岩であり、いと高き神が自分たちを贖う方であることを。」
(詩篇七八篇35節)

常喜にとって初めて教えることとなった「正典論」はとても興味深く、授業を準備し、学びながら学生たちの信仰を深める上でも重要な科目であることが分かってきました。また、1年生の中には信じたばかりの学生も多く、こうした学生たちにも自分が信じているキリスト教の確かさを確認するよい機会になるのではないかと思います。英語ではBibliologyと訳されますが、辞書では「正典論」とは載っていません。内容は、聖書がどのように発見され、編集され、翻訳され、「正典」とされ、

私たちの手元に届いたのかということを経史的、科学的に学ぶ科目です。これはまた、聖書に対する疑問批判から護るという意味で「護教」的内容も含んでいます。学生たちには視覚教材(写真、図、地図、ビデオなど)を用いたり、グループで集まってディスカッションをしてみたりもしています。短期集中講義ということもあり、時間に制限があるため、グループディスカッションでは最終的にグループクラスルームを用いて発表し、その発表に対して応答してもらおう形式で授業を行っています。学生たちが一生懸命取り組み姿勢に励まされながら、授業の準備を進めています。神のことばとしての聖書についての知識、またそのことばによって信仰が深められることを祈ってやみません。

6月より進められてきた大学裏の河川敷の擁壁工事も終盤を迎えました。台風の際に河川の水かさが増し、また流れも速くなるために大学が所有する土地が侵食していく被害に遭っていました。20年ほど前から政府に訴え続け、受け入れられてはいたもののなかなか工事は着工されず頭を抱えていました。今回の工事で河川敷はセメントでしっかりと擁壁され、また侵食された土地も盛土で回復されました。学校ではいろいろな工事が進められているので安全を祈るばかりです。
聖書大学パラワン校の校長マーク・ペロン先生と連絡が取れ、現

在の状況を伺うことができました。感謝なことにパラワン校では4年生2人、3年生1人、2年生9人、1年生7人、合計19名の学生が在籍し、学びと訓練に励んでいます。コロナ禍に入り少人数になったことを以前聞いていましたが、神様が祝して下さい、学生たちを与えて下さっていることに感謝しました。

先生からは今学期に短期集中講義をしてもらいたいという依頼がありました。今学期は予定が入っているので来学期にしようことにしました。一方、パラワン校と同規模で小さな姉妹校であるヴィサヤン(セブ)校、コーディレラ(シニップシップ)校では学生が不在の状況が続いています。引き続きお祈りください。■



CAMBODIA

カンボジア

葛田緑乃*2022年10月11日

「私のゴールは神ご自身。喜びでもなく平安でもなく、祝福さえもありません。唯神ご自身だけ、私の神。」(By Frances Brook 1896) オズワルト・チェンバーズの「いと高き方のもとに」の現代英語版7月12日に言及されている讚美歌の引用が心に刻み込まれて9月の歩みをスタートしました。「何をしたか、どう用いられたか」ではなく、「私と神様との関係がどうであるか」が生涯の路線であり、ゴールは神様ご自身である事を朝毎に確認して生きる日々を心してゆく者であるように、と語られています。

私の最初の宣教の畑はフィリピンでした。そこでの働きの結果から香港の6年間の空間を置いてカンボジアへと宣教の畑が広がりました。フィリピンのパンガシナン州ロサリスにある聖書学校での14年間の教鞭、その卒業生、ジュン牧師ご夫妻に乞われてカンボジアの聖書学校にと、振り返り見る時、

元はフィリピンにての結実を通して枝が伸ばされた出発でした。そこから枝を広げつつ「その、のぶる翼はあまねく汝の地にみちわたらん：そは神われらとともに在せばなり」(イザヤ八・8、10文語)の御言の成就としての現在です。これまでの経緯の詳細は省きますが、いま心に繰り返し語られているイザヤ二六章12節「エホバよ……我らのおこないしことは皆汝の成したまえるなり」のみことばに、アーメンと和しております。

カンボジアでは旧正月のためにプノンペン市の人口が地方からの人々と都会から地方に里帰りする人々が入り替わる時期で、多くの教会員も故郷に帰省してしまします。その間、ヴァンディ師は御自分の家族伝道の間として故郷のカンボンチャムに行かれるとのこと、私は米国から田代幸雄先生ご夫妻、メキシコからCOG宣教師でBTC卒の阿部和子宣教師方が来日されるためのスケジュールが入り、結局定例のスカイプトークは持てなくなりまして。そのため、今月は残念ながら教会活動の詳しい御報告をすることができません。しかし、その中にあつても毎週月曜夜9時半から1時間半余り、伝道者方のため、米国からズームでのセミナーを開いて、学びを続けていくのだと元ウエスレアンのアフリカ宣教師、チャック牧師(84歳)の熱心と熱意に私も励まされています。年齢的には私より年長でいらっしゃる先生です。そ

の先生のお働きの後ろ盾となっておられる実業家、ディック兄の献身的な支援の姿勢に心から感謝し、励まされています。いつの日か、日本にもこのような形で宣教地に貢献するIGMとなるようにと祈られます。

経済的支援ではなく、伝道者の実践的、霊的からの訓育の一部を担ってくださっているお働きのご紹介とご報告をさせていただきます。この報告をご覧になれる方々の心にも宣教の主なるイエス様からの幻(ヴィジョン)が与えられ、日本のディック兄、チャック先生が興され、年齢や健康、言語の壁を乗り越えた宣教の働きが押し進められて行くことを祈りつつご報告いたします。



KENYA

ケニア・テヌウェク

薦田就子*2022年10月7日

ケニアの治安のためにお祈りがあります。9月13日、新大統領の就任式が無事行われました。それを受けて、WGMケニアの危機管理委員会も、今まで

の危険評価レベルを引き下げて、最も低い「グリーン」としました。突発的な変化の警戒は続けながらも、平常通りに過ごしてよい、というレベルです。

まだ警戒が強かった時に、小児心臓外科のチームをアメリカからお迎えしました。先天性心疾患を持つ子どもたちの予定手術に緊急手術も加わっていたようです。手術室主任のV兄弟から、「ものすごく忙しいので是非お祈りしてほしい」と携帯電話に短いメッセージが届きました。ちょうどズームで祈禱会に加わる直前だったので、すぐに祈っていただけで感謝でした。主任にも、「日本の教会の方々に、これから祈っていただくから」とメッセージを送り、感謝の言葉を返されました。

何年前かに三百人待ちと聞いていた心臓外科手術の待機患者さんの数はさらに数百人増えているようです。奇跡的に必要が与えられ、整地とブロック作りから始まった胸部外科センター建設もだいぶ進んでいます。なお必要に答えることができますようお祈りください。

以前田辺宣教師夫妻が教鞭をとっておられたカボソン牧師学校からも嬉しい知らせが届きました。テヌウェク病院から40キロほど離れたカボソンは、テヌウェクより暑く雨も少ない地域です。水不足の解消に、9月15日頃から井戸掘りが始まるという知らせがありました。一週間ほどして「深く掘っているがまだ水が出ない」というメッセージが届いてしばらく後に、「水が出た!」と写真付きで感謝の報告が届きました。1時間間に四千リットル、多過ぎはしないが十分な量、とのこと。田辺先生方以降、卒業式や理事会等の出席はあるものの、カボソンにはずっと定住の宣教師がいませんでした。3人の「小さい」お子さん方とテヌウェク病院に長年赴任されていたM宣教師ご夫妻が、一番下のお子さんまで成長して大学進学に渡米された後というタイミングで導かれ、カボソン牧師学校のすぐ隣のカボソンクリニックに定住赴任される事になっていたため、良い準備となりました。カボソンクリニックはテヌウェク病院の分院のような扱いで、病院のスタッフが一週間のペースで医師の派遣があったり、物資の調達にスタッフがテヌウェク病院の資材倉庫に訪れたり、手術室スタッフにアドバイスを求めたり、修理箇所の必要があればテヌウェク病院の営繕スタッフで修理に訪れたり、というような関わりがあります。

帰国報告、巡回のためにもお祈りをありがとうございます。富士見台に続き、札幌、釧路、秋田に伺うことが許されました。ハイブリッドやオンラインの集会に、クリスチャンやノンクリスチャンの友人・知人の出席があり、それぞれ温かく迎えていただいたことも感謝です。



■会計報告9月分

宣教師金 八七九、三八〇円
月平均 一、〇九〇、八七二円

■お祈りの課題

- ◆台湾(久保) 台湾海峡の平和が保たれるように
- ◆国境の開放に伴う往来の再開で、新型コロナウイルスの感染例が増えないように
- ◆田安が緩和するように
- ◆フィリピン(豊田) 聖書大学の姉妹校(シニブシツプ、パラワン、セブ、ミンダナオ)の祝福のために。(セブとシニブシツプは学生不在)
- ◆聖書大学が進むチャペルの大改修

装工事が、事故などから守られ無事に終えられるように

◆事故、事件、怪我、過ち、災害、病氣、疫病から家族が守られるように。子どもたちの学校のためにカンボジア(薦田就子)

◆ヴァンディ師が主任牧師となつたブノンペン市の開拓教会が主にによる健全な成長を見、自立教会として建ち上がるように

◆ヴァンディ師の御両親の霊的開眼とご親族の救いのために。グレッジ宣教師の御一家、特に「長女のご霊肉の健康のために」

◆KCCの全伝道者方が神様とのお交わりと同労者同士の霊的一致のうちに成長するためにケニア(薦田就子)

◆大統領選挙後のケニアの平和の感謝とこれからのために

◆巡回の奉仕に主の祝福が豊かであるように

◆麻酔科、整形外科、主任室等の働き人(ルカー〇〇)が起これれ用いられるように

◆香港(鹿島)

◆香港の感染状況は大分落ち着いてきていますが、隔離政策は続いており、日本ほど自由には動けません。速やかに緩和されるように

◆牧師の両目の白内障手術後の回復が順調になされた感謝

◆入国マルチビザの申請が再開されました。一刻も早く取得できるように

◆専門職の移民が続く中、香港の社会と経済の回復がなされるように

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

主を思う喜び

院長 ● 林 正弘

「私の心の思いが みこころに
かないますように。私は 主を喜
びます。」(詩篇一〇四・34)

神学院では後期の学びがスター
トしました。特別行事にはそれ
にふさわしい恵みがありますが、
淡々と進められる通常の営みは私
たちの成長のために欠かすことが
できません。毎日行われる授業を
中心とした学びは神学院の営みの
根幹をなすものです。

一般的に言って学ぶためには労
力が必要です。授業に出るだけで
はなく、さまざまな課題や宿題に
取り組んだり、学期末には試験を
受けたりします。時間に追われる

こともあれば内容を理解したり覚
えたりするのがむずかしいことも
あります。もちろん、苦しいこと
ばかりではなく、益になることは
たくさんありますし、新たな発見
に喜びを感じることもあります。

神学院における学びも当然労苦
が伴います。しかし、聖書を学び、
神さまの世界に思いを向け、生き
てともに歩んでくださる主を実感
するとき、その学びは喜びに満ち
たものとなります。若い頃に冒頭
の聖句を読んで本当にその通りだ
と感動を覚えたことがありまし
た。当時は文語訳でしたので、そ
の前半は「エホバをおもふわが思

念(おもひ)はたのしみ深からん」という表現でした。新改訳聖書など最近の訳では、自分の思いが神に喜ばれるものであるように、となつているものが多く、それは正しいのだと思います。しかし、後半の「私は主を喜びます」とつなげて考えるとき、主を思う自分の思いが自分にとって甘美なものである、という理解にも納得がいきません。主を思うと楽しくてたまらないという学びがここにありません。教室での学びに限りません。私たちの歩みにおいて、主とそのみことば、またみわざのすばらしさを味わい、学びつつ主を思い、主を知ることによって心が喜びに躍るような経験を積み重ねていくことができたならば幸いです。



夏期実習を終えて、無事帰院しました

神学エッセー

神学の問題意識

フィービー・パーマー



藤本 満

十九世紀ホーリネス運動で最も有名な伝道者がこの人です。神学教育はなく、夫は西洋ハーブを用いた医師でした。

祈りの女性で、家庭集会にはメソジストの監督まで出席していた。説教・証し・パンフレットの出版で全米に影響を及ぼし、英国のケズウィック修養会の発起人の一人です。

●祭壇の神学

パーマーの著作『ホーリネスへの道』は、わずか50ページの単純なパンフレットでキャンプ・ミーティング(連続した聖会)の教科書と言われていました。参加する者はみな、これを持っていきます。

そこで彼女がもっとも強調したことは、神に明け渡す・献げる、そのために恵みの座に出て、聖霊のバプテスマにあずかるという経験でした。

強調点はウェスレーとかなり違います。ウェスレーは、敬虔の修練(自己否定)、愛のわざ、互いに励まし祈り合うことで、靈性を高め、その先に全き聖化がある

と考えていました。ところがパーマーは、それらの修練を飛ばして、恵みの座に出て明け渡すことで聖霊によってきよめられると教えました。全ききよめがより体験的になり、瞬時的になっていきます。

前回、「メソジストとホーリネス」という題で執筆しましたが、このパーマーの存在が大きな分岐点となりました。

ウェスレーは明け渡すという視点よりも、きよめてくださるキリストの力への信頼・信仰と自己否定を強調しました。

●「私」の神学的な理解の見直し
しかし、今年9月のウェスレー!メソジスト学会のことでした。今年、パーマーに焦点を当てました。そこで今まで知らなかったパーマー神学(ホーリネス神学)の原点を教えてくださいました。

母親として、4人の子どもを病や流産で失ったそうです。それがずっとパーマーの重荷・負い目・罪責感になっていました。ある時、パーマーはそれらを主に明け渡し、たそうです。そのときでした。これまで体験したことがなかった神の愛が聖霊によって注がれ、自分の心がきよめられていくのを味わったというのです。

私は、研究発表を聞きながら、自分が生かされているホーリネスの流れを見つめ直すようになりました。あらためて、自分の敗北や挫折やこだわりを主に献げることの尊さ。それが霊的な礼拝であることを(ローマ二・1)。

聖宣神学院図書館 創設70周年記念企画

神学院図書館と私 3

図書館司書 三森春生

聖宣神学院の図書館は1952年に発足しました。その図書館に寄り添い、支えてこられた図書館司書である三森春生先生に、神学院図書館の創設当時の貴重な証言を綴っていただきました。今回は最終回です。

1989年の校地拡張、食堂と一体の図書館棟新築によって果たされました。

この間、1970年秋に蔵書5千冊の目標が11年かけて達成されましたが、提唱された初代院長が半年後に召天されるとは、だれが予想できたことでしょうか。

長い基礎作りの末、横浜の現在地でようやく「図書館」の形が整いました。任命表に神学院図書室司書が載った1969年の年会では、同時に尾崎隆師が助手に任じられました。助けていただいたのは神学生時代からでした。その後も司書、司書補、補佐など職名は種々でしたが、多くの教役者のご協力をいただきました。

横浜移転後、電子化が急速に進み、図書館業務にも大きな変化が生じてきました。協力者は教役者に限らず信徒も多く、ほとんどがボランティアでした。働き人についてはほとんど割愛しなければならぬのは残念ですが、1992年以来、補佐として30年一心同体で

持続的發展に向けて1968年、神学院は横浜市緑区の現在地に新築移転しました。図書室も新校舎の一教室が書庫として提供されました。閲覧スペースまでは設けられませんでした。自室に持ち出して利用可能となりました。新しい書架も必要でしたが、ある中央官庁でカード収納用の鉄製組立て棚が譲渡され、出費なしで済みました。予定したわけではありませんが、恒久的な設備等は21年後、



共に奉仕してきた新垣重夫牧師の名を代表として感謝の意を表したく存じます。「一」



◆学びの日々が続きます

その答えは福音

聴講生 石川牧子

「牧ちゃんキリスト教でしょ？何でホテルに聖書って置いてあるの？ 家族で泊まった時に息子に聞かれて答えられなくてさあ」突如のママ友からの質問。少し考え、ギデオン協会の働きや、自殺を考えている人に最後に踏み留まってもらう為とか、悩んでいる人に読んでもらおうためとか、その時私が

浮かんだ理由を並べた。さらに質問は続く。「何で聖書を読むと自殺を止められるの？ 何が書いてあるの？」私は前期の授業で「なぜ聖書を読むのか」それに対するみことばをひたすら探し出す作業をした。そのみことばを思い起こしながら、旧約聖書には人間は神の似姿に創造されたこと、人の罪、その創造された神様の存在を無視して生きることの罪が神様との関係を壊してしまったこと、新約聖書にはその関係を回復するためにイエス・キリストが十字架にかかったこと、復活されたこと、今も生きておられることなどを話していった。福音そのものだった。

そのママ友は幼い頃キリスト教系の幼稚園に通っていた。「へえ、聖書ってそういうこと書いてあるの？ 持つてるけど分厚いし、字小さいし、難しくて読む気もしなくて奥にしまっておくよー」私自身もそうだった。クリスチャンホームで育ったが、信仰を持たずに反発でキリスト教から縁を切って生き、聖書は奥にしまっただ。全く神様を無視した人生は虚しく、生きていく価値さえも失った。人間が人間を愛することはできないと結論さえ出た。そんな時、再び教会の門をくぐった日、私は言葉にできない自分の渇きに對する光が注がれた。その理由が知りたくて、その日から奥にやられていた聖書を始めから最後まで読み続けた。そこには私自身への福音が語られていた。私は聖書のこと、

福音のこと、そしてイエス様のことを理解していなかった。救いがここにあることを知って私はイエス・キリストを信じた。

ママ友からの質問の究極の答えは福音だった。前期の別の授業では「なぜ宣教するのか」その理由を求めてみことばを洗い出した。そこで、神様が全ての人が救われることを願っておられるのだということが心に深く伝わってきた。神のいない世界で生きる虚しい命から、永遠の命へと変えられることの尊さを教えられた。

私に質問してきたママ友とその後おしゃべりをした時に、今度は彼女の幼い頃の痛み、親に愛されなかった辛さ、親への憎しみを話してくれた。聖書の中に書かれていること、神様が語って下さっている愛、イエス様の十字架、その福音がその霊に触れて下さることは間違いない。「なぜ聖書を読むのか」「なぜ宣教するのか」ママ友との会話が授業の結びであった。神様は、教室の中でも生活中でも大切な学びをさせて下さっている。この学びは神様の救いの働きであり、神様を無視して生きてきたこの者が今その働きに加えて頂いていることのくすしさを覚える。残された後期の学びを感謝を持って受け取っていきたいと思う。

「これらのことが書かれたのは、……あなたがたが信じるためであり、また信じて、イエスの名によっていのちを得るためである」(ヨハネ二〇・31)



3年ぶりに、1泊2日でのオープンキャンパスが行われました。20名の方が参加してくださいました。

体験授業、チャペル、フェロシップなどのプログラムを通して、神学生生活の一部を体験することができたのではないかと思います。1日目の体験授業はオンラインでの参加もあり感謝でした。参加者から「居心地が良かった」「体験授業がとて良かった」「参加費・

オープンキャンパス

神学院生活を体験する
聖書を学ぶ楽しさ



交通費を出しても参加する価値があった」という声があり、参加した一人ひとりに神様が触れてくださったのだなと心が温かくなりました。オープンキャンパスのためにお祈りしてくださいましたこと感謝します。(正規コース 石川順)



関東聖化大会に参加して

聖化大会では
神学生交歓会が
行われ、合同聖歌隊
で揃って賛美しました

神学院スタッフ…恵みの想起

アドナイ・イルエ

学務課 馬場満子

学院の木々の色づきに秋の深まりを感じつつ来し方を振り返りました。当時の院長先生の熱心なお誘いに尻込みしつつ、恐る恐る学務課にやって来た時のこと、ベテルハウスを始め学務でも次々とやるべきことが出て来て、恵みの中に充実した毎日が過ごせたこと、大人数ではないけれど、大切な神学生お一人おひとりの印象深い出会いと楽しい交わりの一瞬が……。思い返すと、どれもかけがえない貴重な経験です。

直接献身の召しは頂きませんが、主がここで働きなさいと仰るならこんな私でもと今まで過ぎてさせて頂きました。主の導かれる処にはたくさん恵みがあります。そのことを実感できる何年かを過ごせました。いま改めて感謝しています。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。9月の会計報告をさせていただきます。

9月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥1,500,000

教会員による
「神学院サポート献金」
¥478,730
教会団体による「神学院献金」
¥624,507
合計¥1,103,237
その他の献金(一時・特別)
¥17,000

・振替= 00230-0-10138

●10月は、4〜7日「結婚カウンセリング」(梅田昇師)、11〜14日「ヨハネの福音書」(葛田直毅師)の集中講義がありました。

●10月18日(火)は関東聖化大会聖会でした。夜の聖会で神学生合同コワイアによる賛美の奉仕があり、神学生4名(石川兄妹、林兄、森姉)も参加しました。

●10月21日(金)〜22日(土)には、2年ぶりにオープンキャンパスが行われ、オンラインや部分参加も含めて20名の方々(宿泊9名)が全国より参加されました。

●後期は10月25日から始まります。クラスは以下の通りです。祝福をお祈りください。説教(藤本師)、教理II(國重師)、日本教会史(川嶋師)、スピリチュアル・フォーメーション(田辺師)、大預言書(矢木師)、プレイズ&ワーシップ(田辺宣恵師)、メソジズムI(野田師)、聖書読解法II(林師)。

学苑だより



公報

本部通達

「主が私に良くしてくださったすべてに対し、私は主に何と応えたらよいのでしょうか。」

(詩篇一一六篇12節)

新型コロナウイルス感染の増加傾向の兆しが再び見える中、宣教強調月間を迎えました。宣教地も国内教会も、同じ主の宣教の働きに召されていることを覚え、祈りましょう。宣教聖日を迎える私たちに宣教の熱意を主が増し加えてくださるようにお祈りいたします。月末にはアドベントを迎えます。

■本部

〔会議〕 7日(月)～8日(火)

教団運営委員会(OCC)

(予算書承認・責任役員会・人事委員会)

【感謝】

10月21日の教団創立記念日を覚え、各教会では記念礼拝が行われました。困難な状況下にもかかわらず感謝献金を実施してくださいましたことを感謝申し上げます。

〔公告〕

島田教会(浜田耕三牧師)は会堂を建て替えることになりました。建設諸費用約六八〇〇万円は自己資金、銀行融資、教団融資(一五〇〇万円)で充当します。正規の手続きを経て、教団責任役員会は承認しました。

2022年9月17日

イムマヌエル綜合伝道団
責任役員会

〔辞令〕

11月1日付をもって以下の任命を行いました。

神谷光一牧師

神谷美津子牧師

細田恒太郎牧師

を盛岡教会の協力牧師(兼任)に任命する。

2022年11月1日

教団代表 岩上祝仁

▼人権委員会

教団全体へのハラスメントに関わる啓発活動として、研修会を実施する予定です。

2023年2月23日(木/祝)

講師||窪寺俊之氏(兵庫大学大学院特任教授)

■国内教会局

〔会議〕

11月4日(金) 宣教研究委員会

11月7日(月) 女性牧師部祈り会

11月11日(金) 国内教会局実務会

〔教区会〕

11月1日(火) 北関東教区

11月20日(日) 中国教区

〔地域聖会〕

◆東関東聖会(オンライン併用)

11月3日(木/祝)

会場||市川サンシティ

講師||田辺寿雄師

◆静岡聖会(オンライン併用)

11月3日(木/祝)

会場||浜松教会

講師||岩上祝仁師

◆沖繩聖会

11月3日(木/祝)

会場||那覇教会
講師||葛田聡教師

■世界宣教局

▼10月7日午後実務会、14日(金) 午後1時30分からです。

11月の運営委員会を11日(金) 午後1時30分からです。

11月は宣教月間、20日(日)は宣教聖日です。それぞれの教会で出来る形で、ご協力をお願いいたします。

11月29日(火) 午後、IWF理事會が行われます。

同日夜、ズームでIWF70周年記念集会を予定しています。

葛田就子宣教師はただ今国内巡回中です。礼拝や祈禱会などにぜひお招きください。お申込みは葛田敬子師まで。巡回スケジュールは教団HPでご確認いただけます。

グローバル・パートナーズのロビン・ホワイト宣教師ご夫妻は、ただ今カナダに帰国巡回中です。12月に再赴任されます。

■教育局

〔教育部・信徒教育課〕

▼信徒向け聖書講座(無料、各教会で自由に利用可)。

内容||「使徒の働き」の学び(第22回目まで公開中)。

講師||岩上敬人師(JEA総主事)

▼過去の信徒聖書講座

内容||「救いの確立」(熊谷邦男師) 第8回(最終回)まで公開中。

(聖書講座は教育局ETCから常時視聴可)

〔青少年部・青年課〕

▼ビルド(月に一回、オンライン)

発行人 岩上祝仁 編集者 寺村秀嗣

発行所 東京都千代田区神田駿河台一

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

OCCビル イムマヌエル綜合伝道団本部

郵便振替 001107133609

新生宣教団 定価 一部110円(税込)

9406

教報PDFパスワード#9406

能です。

お勧めします。介護等のご相談、希望する施設についての説明が可

余裕をもって相談されることを

yosi@bethania.or.jp

8844(呉ベタニアホーム)

0823(26)

〔開催〕

*今月は「聖書を読む」ビルド、来月はテーマをもとに語り合うトーク

ビルドです。(お問い合わせは担当の久留米教会・吉村師まで)

▼第9回YSBリトリート(オンライン開催)

日時||11月23日(水/祝) 午前10時~午後3時

ゲスト||田辺寿雄師

テーマ||「神のデザインII」私の中の〇〇と、その先へ」

プログラム||讚美、アイスブレイク、教会紹介動画(沖繩3教会特別編)、分かち合い、メッセージ、フリータイムなど

申込方法||教会配布のチラシ記載QRコードから

(eラーニング)

9月第2週より開始された島先

克臣先生によるコース

「包括的福音を求めて」は、これ

からでも受講可能です。牧師・宣

教師・神学生・信徒伝道者には、

申請を頂ければ補助があります。

(申請窓口||野田禎師)

■信徒局

▼秋のカナ・フェロシツプ

12日(土) 午後1時~3時半

対面での開催予定(中目黒教会)

講師||田中進先生(参加費無料)

*未婚者は申込みにパスワードが必要。牧師を通して6日まで

必要。牧師を通して6日まで



林眞光兄 シオン・キリスト教団
蒲田教会

森徳子姉 深川教会

▼インタン実習

石川順兄は実習継続中です(東京フリー・メソジスト桜ヶ丘教会。お祈りください)。

▼秋の教師会 10日(木) 午後1時から対面・オンライン併用で。

同日午前11時から図書館70周年を記念して司書の三森師による講演があります。

▼神学院祈り会は、14日(月)にオンラインで行われます。

▼BTCリトリート

12月28日(水) 夜~30日(金) 午前。案内チラシをご覧ください。

▼「後援会たより」第12号が発行されました。

消息報告



▼國光勝美師・國光ひろ子師は11月から呉ベタニアホームに入居されます。

*牧師退職に関わる「厚生委員会相談窓口」(担当・里村佳子師)は、電話、またメールで相談を受け付けています。0823(26)

8844(呉ベタニアホーム)

yosi@bethania.or.jp

余裕をもって相談されることを

お勧めします。介護等のご相談、希望する施設についての説明が可

能です。

教報PDFパスワード#9406

9406

教報PDFパスワード#9406

9406

教報PDFパスワード#9406

9406

教報PDFパスワード#9406

9406

教報PDFパスワード#9406

9406